			令和6	年度(2024年度) 年間授業	計画表			
学年	3	コース	特進S 理系	選択形態	必修	科目	化学	単位	4
学習目標	化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。								
使用教科書	化学(第一学習社) 副總			新課程版 セミナー化学 (第一学習社)			社)	予定時間数	140
	_			単元と	: 内容				
1学期	第IV章 有機化合物 第1節 有機化合物の特徴 第2節 脂肪族炭化水素 第3節 酸素を含む脂肪族化合物 第4節 芳香族化合物			・有機化合物の特徴と分類について理解する。 ・有機化合物の構造式を決定するまでの過程を学習し、その原理を理解する。 ・飽和炭化水素の性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。 ・不飽和炭化水素の性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。 ・アルコール、エーテルの性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。 ・アルデヒド、ケトンの性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。 ・カルボン酸、エステルの性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。 ・油脂、セッケンの性質を、その構造と関連付けて理解する。 ・満香族炭化水素の性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。 ・芳香族炭化水素の性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。 ・芳香族アミン、アゾ化合物の性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。 ・芳香族化合物の分離を化合物の性質にもとづいて理解する。					
	第V章 高分子化合物 第1節 高分子化合物 第2節 天然高分子化合物 第3節 合成高分子化合物			・高分子化合物の特徴を理解する。 ・単糖、二糖について、その構造や性質を理解する。 ・多糖について、その構造や性質を理解する。 ・勇生繊維と半合成繊維について、その合成や性質を理解する。 ・α-アミノ酸について、その性質や構造を理解する。 ・タンパク質について、その構造や性質を理解する。 ・核酸について、その構造や性質を理解する。 ・合成高分子化合物の特徴や分類を理解する。 ・合成繊維について、その構造や性質、用途を理解する。 ・合成繊維について、その構造や性質、用途を理解する。 ・合成樹脂について、その構造や性質、用途を理解する。 ・機能性高分子について、その構造や性質、用途などを理解する。 ・天然ゴムと合成ゴムについて、その構造や性質、用途などを理解する。					
	終章 化学の築く未来			・化学が果たしてきた役割として、さまざまな物質がそれぞれの特徴を生かして人間生活の中で利用され、日常生活や社会を豊かにしていることを理解する。 ・化学の成果がさまざまな分野で利用され、未来を築く新しい科学技術の基盤となっていることを理解する。					
2学期	大学入学共通テスト&私立大学入試対策			・化学の全範囲の基礎の復習を通して、共通テストや私立大学の入試問題に対応できる力を身につける。					
3学期	国公立大学2次&私立大学入試対策			・国公立大学2次や私立大学を受験する生徒に対して、個別に指導する。					
	-			評	価				
評価の観点			評価の趣旨			評価対象			
				11 HH ALE FE			1学期末	2学期末	学年末
1	知識・技能に、		に,科学的	の基本的な概念や原理・法則を理解しているととも 科学的に探究するために必要な観察,実験などに関 操作や記録などの技能を身に付けている。			\circ	\circ	0
2	思考力・判断力・表現力 て観察,実		物・現象から問題を見いだし,見通しをもっ 験などを行い,得られた結果を分析して解釈 るなど,科学的に探究している。			0	0	0	
3			り振り返った	事物・現象に主体的に関わり、見通しをもった ったりするなど、科学的に探究しようとしてい			0		0
評価方法	① 知識·技能			② 思考力・判断力・表現力			③ 主体的に学びに向かう態度		
	定期考査 80% 各種提出・レポート 20%			定期考査 50% 各種発表・まとめ 50% 各種発表・まとめ 50%					